



盛岡同窓会報

題字指毫／第9代同窓会長 吉田昭夫

北京オリンピック金メダリスト・高木美帆選手（右）に勝利し **2連覇達成**



長野県で行われた全日本スピードスケート距離別選手権の女子500mで吉田雪乃選手（電子情報科令和2年卒）が37秒50をマークし、2位の北京オリンピック金メダリスト・高木美帆選手に0秒51の差をつけ優勝、2連覇を達成しました。

来年2月のミラノ・コルティナ冬季オリンピック出場に期待が高まります。

同窓生の皆様方如何お過ごしでしょうか。皆様には日頃より同窓会活動に際し、ご理解ご協力をいただき感謝を申し上げます。

昨年は、母校盛岡工業高校ラグビー部が第104回大阪花園大会において4大会ぶり36回目の出場を果たし、初戦で長野県代表飯田高校を26対24の接戦で下し、続く2回戦では優勝候補の茨城県代表の茗溪学園高校に敗れましたが花園大会での活躍が、岩手県代表として県民の方々に感動を与えたとともに全国に盛岡工業高校の名声を発信くれたものと思っております。大会の出場に際し、募金活動など同窓生の多くの方々から多大なご支援をいただき感謝を申し上げます。

スピードスケートの吉田雪乃選手は、全日本距離別選手権（長野市エムウェーブ）500mにおいて2連覇を果たし日本代表として2026年2月に開催されるイタリア・ミラノ・コルティナ冬季オリンピックでのメダルが期待されるところです。生徒たちについても、ウエイトリフティング部の全国入賞やバスケットボール部の躍進など各運動部・文化部とも様々な活躍をしています。

盛岡工業高校の各部の活躍に伴い、同窓会各支部活動も活発になり同窓会の交流が図られ大変うれしく存じているところでございます。

母校盛岡工業高校は、少子化に伴う生徒数の減少による学科の再編、令和12年ごろに予定されている旧盛岡南高校跡地への移転計画があり、その移転計画に際し建築科同窓生を中心に検討委員会を立上げ県下工業高校のセンタースクールとして対応した施設を検討提案することとしております。

令和10年には明治31年以来の歴史を刻んだ盛岡工業高校は130周年を迎えます。皆様とともに母校のさらなる向上発展に努めてまいりたいと存じます。同窓生のみなさまのご支援ご協力を願ひまして挨拶いたします。



ご挨拶

同窓会長 白根 敬介

御挨拶



体育後援会長

滝浦 輝雄

同窓生の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

母校、岩手県立盛岡工業高等学校は、今年で創立127周年を迎えるという、輝かしい歴史と伝統を積み重ねて参りました。この歴史は、ひとえに地域の皆様、先生方、そして卒業生である同窓会の皆様の多大なるご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。さて、今年度も母校のスポーツ部門

校長あいさつ



第38代校長

菅原 基

同窓会の皆様には、日頃より母校の教育活動に對しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度、第38代校長として着任しました菅原です。全国でも屈指の歴史と伝統を誇る盛岡工業高校に着任でき、また同時に身が引き締まる思いです。その責任をしっかりと果たせるよう努力してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度のこれまでの生徒の活動を振り返りますと、今年度も本校生

から、私達同窓会に大きな喜びと感動を与えてくれるニュースが届いております。特に、ラグビー部は10月18日の県予選決勝戦において、黒沢尻北高校を14対12という激戦の末に破り、見事2年連続全国高校ラグビー大会（花園）への出場を決定いたしました。伝統の力を発揮した選手たちの奮闘に、心より拍手を送りたいと思います。彼らの花園での活躍を、同窓生一同で熱く応援しましょう。

また、バスケットボール部も県予選決勝まで勝ち上がり、接戦の末黒沢尻工業高校に惜敗しましたが、全国大会出場に手が届く位置まで進出しており、その躍進には目覚ましいものがあります。

さらに、卒業生の吉田雪乃選手（スピードスケート）が2月に行われるミラノ・コルティナ冬季オリンピックの

徒の活躍は目覚ましいものがありました。

部活動では、高校総体岩手県予選でバスケットボール部が35年ぶりに優勝し、ウエイトリフティング部アーチェリー部、レスリング部、陸上競技部とともにインターハイに出場しました。さらに、そのインターハイではウエイトリフティング部男子個人が6位に入賞しました。その後に開催された国民スポーツ大会等でも岩手代表として多くの選手が出場し活躍しました。

また、10月18日（土）の花園予選決勝では全校生徒が応援する中、本校ラグビー部は最後まで高い集中力で粘り強く戦い、黒沢尻北高校に2点差で勝利し、2年連続の花園出場を決めました。ロボット競技においても県予選で優勝し全国大会に出場しました。その他にも自動車部、アマチュア無線部をはじめ各文化部も運動部に負けない活躍をしています。

また、進路関係では就職・進学実績

日本代表候補として選出されたという朗報も届きました。母校の「質実剛健」の精神を体現し、世界の大舞台を目指す吉田選手の活躍は、在校生・同窓生にとつて最大の誇りであり、大きな希望となります。

私も、昭和44年3月に母校を卒業した一人として、後輩たちの活躍が本当に嬉しく、力をもらっております。体育後援会といたしましても、引き続き、生徒たちが全力で学業と部活動に打ち込めるよう、最大限のサポートを続けてまいります。同窓会の皆様には、これからも母校のさらなる発展のため、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

はもちろんのこと、その他のどの分野でも生徒たちは精一杯努力し、成果をあげております。

学校行事等では、10月25日（土）に「盛工祭（一般公開）」を開催し、昨年度同様に1000名を超える方々をお迎えしました。さらに12月6日（土）にイオンモール盛岡で「盛工匠祭」を開催し本校の教育活動を広く周知したいと思っています。

卒業生の活躍も素晴らしい、特に日本女子スピードスケート界期待の吉田雪乃選手からも目が離せません。

終わりに、生徒たちは普通高校では絶対取得できない国家資格取得にも熱心に取り組む、誇りと自信を持って学舎を巣立っていきます。卒業以来母校に足を運んだことのない同窓生の方もおられると思います。どうか明るく元気な後輩たちの姿を応援に来て下さい。今後ともより一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

盛工生！ 活躍！



盛工生徒会活動報告

(令和6年度後期～令和7年度前期)



生徒会長

村田 悠吉

(機械科3年)

諸先輩の皆様こんにちは。

私たちの活動について報告したいと思います。私たちはこれまでに引続き、生徒会報・生徒会誌の発行や体育祭の運営、盛工祭での企画・運営、新聞局での盛工瓦版の発行などに加え、新に校則検討委員会の設立や他校交流など様々なことに取り組みました。校則検討委員会は、生徒総会で校則改正についての意見が多く、校則の見直し、検討、改正など、校則についての検討委員会を新設し取り組んでいます。実際に今年度は、ツーブロックに関わる服装規定の改正が行われるなど、少しずつ見直されています。他校交流では、生徒会の代表者が、他校の生徒会のもとへ行き、質問や意見を出し合い、それぞれの学校をより良くするために活動しています。

今の「盛岡工業高校」があるのは、先輩方が盛工の良き伝統を引き継ぎ、発展させてくださったおかげであると思います。

私たちは言葉通りに、伝統を引き継ぎ発展させ、より良い学校づくりのために活動してきました。現在は、すでに代替わりをし、私が主として動くことはありませんが、その思いを後輩達に託し、これからも盛工の発展に向けて努めてまいります。先輩方の思いを引き継ぎこれからも誇り続ける「盛工ブランド」を作り続けます。

2025年度 体育祭



盛工祭



期間中は、作品の説明や紹介をさせていただきながら実際に触れたり座ったりしていただき様々な感想を頂戴し、生徒たちも知識を深められた様子でした。時折、他の工業高校の様子や会場内の展示・出店・イベントなども見学・体験し、常日頃工業分野ばかりに目が向きがちなところですが、産業全体の基礎に触れ、様々な連携により新たなものが創造されていくことを再認識させられました。

10月25日、26日福島県郡山市「ビックパレットふくしま」で開催された、第35回全国産業教育フェア福島大会（さんフェア福島2025）に参加してきました。産業教育は、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉などの専門教育分野からなり、この大会は、それぞれの専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典として開催されています。作品展示等に加え各種講演や発表会、競技大会も並行して行われ、本校からは、ロボット競技大会へも出場しています。建築・デザイン科では、令和5年6月に開催された「第73回全国植樹祭いわて2023」で作成・展示した、岩手の形を模った机と大会マスコットキャラクターをイメージした椅子の作品展示行っておりました。



さんフェア福島2025に参加して

建築・デザイン科 角 清一



たかが40年 されど40年



前・盛岡工業高校
陸上競技部・部活動指導員

穴戸 豊治

私は本年3月（令和7年3月）で盛岡工業高校陸上競技部コーチから離れました。

昭和53年盛岡工業高校に転勤して、盛岡工業高校での教員生活と部活指導がスタートしました。その盛工では、前任校での全ての経験を生かして10年間の在籍中に、投てき三冠王3人の誕生と新人戦、高校総体の総合優勝格3回、インターハイ、国体の初入賞と、更に長距離指導者の今野邦彦先生と出会い、全国高校駅伝大会出場、日報駅伝大会優勝等、顧問、監督として最高の体験をさせて頂きました。

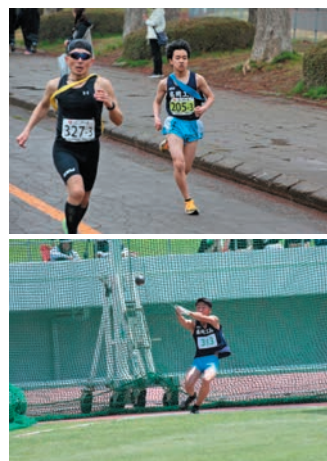
平成7年4月から再び盛岡工業高校に着任しました。それから退職までの10年間と退職後は常任講師として6年間の合計16年間も勤務させて頂きました。その在職中に、11年連続インターハイ出場（平成7年～平成17年）、ハンマー投げ上位独占（1位～3位）4回、高校総体ハンマー投げ、新人戦円盤投独占（平成15年）、インターハイ出場20回達成（昭和56年～平成19年）等、生徒達からは毎年素晴らしい感動を与えて頂き、素晴らしい記録を残して卒業してくれました。



令和7年5月22日

平成23年3月に盛岡工業高校電気科を退職してからもそのまま盛岡工業高校に陸上競技部のコーチ、部活指導員として、本年3月まで14年間も生徒と関わらせて頂きました。そのコーチ時代には、インターハイ出場5回、2度目の岩手インターハイ、希望郷いわて国体の投擲競技審判長も経験させて頂きました。盛岡工業高校での通算40年間は、生徒達と毎日が無我夢中の真剣勝負の連続でした。私と盛岡工業高校の関りは、まさに「たかが40年されど40年」としての卒業生達との思い出の年月として過ぎてしまいました。

結びに、私は指導者も良き師、良き先輩、よき仲間を持たなければ自分自身の成長は無い、という事を強く信じています。私は本年4月から盛工での部活動指導はなくなりましたが、令和7年度はスタートしました。私は、家族にも応援してもらい、今日も大会審判のため競技場に向かっています。大好きな陸上競技に、心から感謝の気持ちでいっぱいです。



令和6年度 各科進路先一覧

(企業名及び校種別の学校名は五十音順)

<機 械 科>

【管内就職】(株)岩手村田製作所、(株)小山田工業所、コマツ岩手(株)、(有)ナイガイ、(株)ペン岩手工場、(株)ミクニ盛岡事業所(2名)、盛岡セイコー工業(株)

【県内就職】東京エレクトロンテクノロジソリューションズ(株)、日重建設(株)東北支店

【県外就職】アイリスオーヤマ(株)、JFEスチール(株)棒線事業部仙台製造所、新明和工業(株)、(株)東海理化電機製作所、日立Astemo(株)厚木工場、(株)東京精密、三菱ふそうトラック・バス(株)、日本製鉄(株)北日本製鉄所室蘭地区(株)YDKテクノロジーズ(2名)

【公務員】自衛官候補生

【大 学】東北工業大学

【大 学 校】岩手県立産業技術短期大学校矢巾校、岩手県立産業技術短期大学校水沢校

【高 技 専】岩手県立黒沢尻工業高等学校専攻科

【専門学校】盛岡ヘアメイク専門学校、花壇自動車大学校(2名)

<電子機械科>

【管内就職】IGRいわて銀河鉄道(株)、(株)力ガヤ

【県内就職】(株)ツガワ花巻工場

【県外就職】JR東日本テクノロジ(株)、住友重機械工業(株)田無製造所、住友電気工業(株)横浜製作所、(株)高田工業君津支社、東芝エネルギーシステムズ(株)、日産自動車(株)(2名)、日鉄テックスエンジン(株)東日本支店、(株)日立ソリューションズ東日本、フルテック(株)、(株)ホンダテクノフォート、三島光産(株)鉄鋼君津事業部、三菱電機(株)鎌倉製作所

【大 学】八戸工業大学、関東学院大学、岩手県立大学宮古短期大学部

【大 学 校】岩手県立産業技術短期大学校矢巾校(4名)

【高 技 専】岩手県立黒沢尻工業高等学校専攻科

【専門学校】岩手看護専門学校、大原ビジネス公務員専門学校盛岡校(3名)、上野法律ビジネス専門学校、北日本ヘア・スタイリストカレッジ

<電 気 科>

【管内就職】岩館電気(株)、岩手電工(株)、共和電気(株)、(株)興和電設、新興電気(株)、(有)ナカテック

【県内企業】(株)阿部土建エンタープライズ、(株)ジャパンセミコンダクター、TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株)北上工場

【県外就職】アキラ機電(株)、(株)ウォーターエージェンシー、(株)関電工、(株)きんでん、(株)セコム(株)、(株)第一ビルメンテナンス、(株)東京エネシス、東京電力パワーグリッド(株)(2名)、東京電力リニューアブルパワー(株)、東芝エレベータ(株)東北支社、東北計器工業(株)、(一財)東北電気保安協会(2名)、東北電力ネットワーク(株)(2名)、(株)トッパンテックノ、東日本電気エンジニアリング(株)(2名)、(株)日立ビルシステム首都圏支社、(株)ユアテック(2名)

【大 学】駿河台大学、仙台大学、日本大学(2名)

【大 学 校】岩手県立産業技術短期大学校矢巾校

【専門学校】MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校、花壇自動車大学校、ESPエンタテイメント東京

<電子情報科>

【管内就職】東北シート工業(株)、盛岡セイコー工業(株)、(株)ペン岩手工場、(株)ニュートン

【県内就職】(株)デンソー岩手、キオクシア岩手(株)(2名)

【県外就職】ヒロセ電機(株)、アイリスオーヤマ(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・エムイー、トヨタ紡織(株)、日本電気(株)(NEC Corporation)

【大 学】岩手大学(2名)、岩手県立大学(2名)、盛岡大学(2名)、東北工業大学、東北学院大学、東京電機大学、日本工業大学

【大 学 校】岩手県立産業技術短期大学校矢巾校(6名)、岩手県立産業技術短期大学校水沢校

【高 技 専】一関工業高等専門学校

【専門学校】MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校(4名)、MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校、MCL盛岡公務員専門学校、北上コンピュータアカデミー、仙台デザイン&テクノロジー専門学校、日本デザイナー芸術学院、日本工学院

<土 木 科>

【管内就職】(株)アプローチ、(株)岩手パブリック、(株)内澤建設、ND(株)岩手営業所、開成建設(株)、(有)佐藤塗装工業、大豊建設(株)、(株)タカヤ、(株)DR、(株)東北ターボ工業、(株)土橋工

務店、(株)中村建設、梨子建設(株)

【県外就職】愛知陸運(株)、大林道路(株)、鹿島道路(株)、(株)笹島建設、佐藤工業(株)、世紀東急工業(株)、仙建工業(株)、全農物流(株)、(株)ディー・アイ(2名)、東北自然エネルギー(株)、(一財)東北地域づくり協会、(株)トマック、(株)NIPPPO、日本道路(株)東北支店、(株)ネクスコ・エンジニアリング東北、フジタ道路(株)、丸磯建設(株)(2名)、(株)森本組

【公務員】滝沢市職員

【大 学 校】育英大学、東北工業大学、日本体育大学、仙台大学

<工業化学科>

【管内就職】(株)タイヤサービス盛岡、DOWA通運(株)

【県内就職】イーエヌ大塚製薬(株)花巻工場

【県外就職】黒崎播磨(株)、JR東日本メカトロニクス(株)、デノラ ペルメレック(株)、寺岡オート・ドアシステム(株)、デンカ(株)千葉工場(2名)、DOWAテクノエンジン(株)、丸善石油化学(株)千葉工場、(株)ヤマダデンキ

【専門学校】仙台デザイン&テクノロジー専門学校、MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

<建築・デザイン科>

【管内就職】(株)遠忠、昭栄建設(株)、(有)曾我工務店、樋下建設(株)、(株)東京BK足場盛岡営業所、菱和建設(株)

【県内就職】(株)佐々木組、(有)多田工務店

【県外就職】(株)青木工務店、住協建設(株)、大和ハウスリフォーム(株)東京本社、(株)田中建設工業、東京美術紙工協業組合、中村表装(株)睦屋仙台支店、力丸建設(株)

【大 学】長岡造形大学、東北学院大学、東北工業大学(2名)、愛知産業大学

【大 学 校】岩手県立産業技術短期大学校矢巾校(5名)、東北職業能力開発大学校(3名)、山形県立産業技術短期大学校、秋田職業能力開発短期大学校

【専門学校】上野法律ビジネス専門学校、MCL盛岡医療大学校、MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校、仙台工科専門学校、日本工学院

<定 時 制>

【管内就職】(有)岩昭機工

【県外就職】(株)ナンセイ

科

だより

工業化学科



工業化学科長
佐藤 愛美

工業化学科の今とこれから
— 皆様のご支援に感謝を込めて —

盛岡工業高等学校は明治31年に開校し、今年で創立127年を迎える歴史と伝統のある学校です。長きにわたる、多くの同窓生の皆様が社会の第一線で活躍くださり、在校生の進路を力強く切り開いてくださいました。諸先輩方が築いてこられたこの伝統と歴史は、企業の皆様からの厚い信頼につながっており、「ぜひ盛岡工業高校の生徒を採用したい」との嬉しいお言葉をいただくなど、在校生はその恩恵を日々実感しております。

また、盛岡祭や校外イベントの際には、同窓生の皆様がお時間を割いてお越しくださり、かつて白衣に袖を通して、試験と真摯に向き合った日々を思い起こしながら、在校生に温かい声援をくださることに、心より感謝申し上げます。

工業化学科は、昭和18年の教育令改正により応用化学科から改称されて以来、今年で82年の歴史を刻みます。これまで多くの卒業生が、現代社会を支えるさまざまな分野で専門性を活かして活躍しています。一時期は2クラス編成となるほどの規模を誇った工業化学科ですが、近年は入学生の減少という厳しい現実と直面し、学科再編の危機に立たされています。

中学生向けの体験入学や盛岡祭での実験体験は毎年ご好評をいただいておりますが、学科の学習内容は幅広く、その魅力を一般的な表現、一言で説明しづらいという難しさもあります。そこで、より多くの方々、そして何より在校生自身に「工業化学」の奥深さへの理解と学習意欲を深めてもらうための、今年度より学校設定科目「いわての化学」を本格的に立ち上げました。この科目は、地域企業との連携を通じて、学科で学ぶ座学と企業の最先端技術を結びつけ、学習内容に具体的なイメージを持たせることを目的としています。製薬、表面処理、半導体、水質、環境など、学習内容は多岐にわたりますが、多くの企業様がこの趣旨にご賛同くださり、授業の実施に至っています。また、技能検定や環境測定分析士など、新たな資格取得にも意欲的に挑戦し合格するなど、生徒たちは日々の学習に真剣に取り組んでいます。さらに、卒業時に「毒物劇物取扱者資格」を取得できる高校は全国的にも珍しくなっており、この特色を活かし、今年度の入試からは県外からの入学生を受け入れる「いわて留学」も開始いたします。

今後、同窓生の皆様をはじめ、地域の皆様にも「工業化学科」の価値と未来を知っていただけるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。皆様の貴重なご経験や知識を、ぜひ次世代の育成のためにお寄せいただければ幸いです。引き続き、皆様の温かいご指導とご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。



定時制校長
湊 慎一

定時制の近況

定	時
だ	よ
り	り

日頃から定時制教育に対し御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。令和七年度定時制は、一年生七名、二年生七名、三年生八名、四年生一名の計二十三名でスタートし、四修制コース五名、三修制コース十八名の生徒が学んでいます。専門教科(工業)の授業では機械と電気分野を学び、国家資格の取得にも挑戦しています。

四月八日に全日制と合同で入学式を行い、対面式や部活動への入部などで新入生七名を在校生全員であたたかく迎えた新年度がスタートしました。

五月に行われた生徒総会では、「志」を信じた道を進み、大きく羽ばたこう」をスローガンに掲げ、志を生徒一人ひとりがそれぞれに持ち前向きに学校生活を送ることを生徒全員で確認しました。また、五月末に行われた岩手県高等学校総合体育大会へ、卓球・バドミントンの二つの部が参加し、普段の練習の成果を発揮し、卓球部は男子団体戦で二年連続九度目の優勝、バドミントン部は男子シングルスで部第三位に二名が入賞し、卓球部・バドミントン部ともに全国高等学校定時制通信制体育大会への出場権を獲得することができました。

この結果により卓球部は八月五日・七日に駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で行われた全国大会に出場し、一回戦を山梨県代表・都留高に3-0のストレートで勝利し、二回戦では、東京都代表・新宿山吹高校に2-3で惜敗するという内容でした。メンバー三人全員が来年度も残ることから来年度に雪辱を果たすことを目標に現在さらに練習に熱が入っております。バドミントン部は、岩手県代表選手として二名が、八月十九日・二十二日に小田原市総合文化体育館で行われた全国大会に出場し、それぞれ岩手県代表のシングルス、ダブルスの選手として試合に臨み、大分代表に1-2と惜敗しました。



長について発表し、二位相当の岩手県教育委員会教育長賞を見事受賞しました。

九月には、前期末考査で今までの学習内容の定着を確認し、十月はじめには、二年生がインターンシップに取り組み、盛岡市・矢巾町・紫波町の企業八社に分かれて三日間の職場体験実習を行いました。将来を考える上で大切な職業観を養うことができた。十月末に行われた盛岡祭一般公開では、生徒会を中心に企画を考え、学年を越えて協力し準備し本番に臨みました。工業科の作品展示に加えて定時制フードコート企画し、たこ焼きを販売しました。準備や各係の仕事を生徒全員で分担し、協力しながら展示・販売をすることができました。

このように、様々な行事や取組みをより良いものにするように、毎年改善しながら取り組んできております。

以上のような定時制の教育活動について理解を深めていただくため、本校定時制職員が近隣の中学校を訪問して説明する取組を継続しております。十二月一日には中学生と保護者を対象に「定時制学校説明会」を実施します。市内中心部から無料スクールバスの運行があること、希望者には「夜間給食」としての定食利用ができること等の説明をしております。

定時制では学校行事や社会体験をとおして、社会性やコミュニケーション能力等を重点的に育成することを目指しています。今後も、生徒一人ひとりの個性を尊重した教育活動に取り組みでまいります。引き続き、御助言や御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度盛工同窓会・体育後援会総会

【期日】 令和7年7月6日(土)
【場所】 サンセール盛岡

同窓会長挨拶では白根会長より、連日暑い日が続いている中、東京支部より3名の方のご参会いただいたこと、昨年の4年ぶり36回目の花園大会出場、スピードスケート吉田雪乃選手の冬季五輪に向けた目覚ましい活躍など盛岡工業高校の名声を発信できうれしく思っている。また、校舎移転計画に際し検討委員会を立上げ活動していること、盛工の発展につなげていければと思うことなどの話をされました。

続いて、議長に竹田浩久氏(機友会S48年卒)を選出し議事に入りました。はじめに、令和6年度事業報告並びに会計報告では、4月8日の入学式を皮切りに例年通りの事業が行われたこと、準会員の納入方法・金額の変更により予算削減を図っていることなど、会計決算と併せて承認をいただきました。続いて、令和7年度事業計画



(案) 並びに予算(案) について審議をいただき承認をいただきました。最後に、事務局業務の一部外部委託について審議され、原案通り可決いただきました。また、桐友会(普通科)が解散されたこと、収入減に伴い多くの皆様から会費を頂戴したい旨、事業の整理・改善など昨今の物価上昇を含め時代に即した形で進められるよう検討していきたいことなどお伝えしております。

懇親会については、叙勲受章者3名への記念品の贈呈やお言葉を頂戴し、改めて盛岡工業高校の偉大さに気づかされました。また、スピードスケートの吉田雪乃選手の近況や花園大会での報告、ご支援・ご声援に対するお礼もお伝えさせていただきました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。次回開催予定は、令和8年7月4日(土) ※7月第1土曜日 サンセール盛岡となっております。たくさんの方々のご参加お待ちしております。

事務局より

令和6年度の4年ぶり36回目のラグビー部の花園大会出場に際し、多数のご支援・ご声援を賜りありがとうございました。本年度も岩手県大会を制し2年連続37回目の出場権を獲得し12月27日から大会に挑みます。2月に開催される冬季オリンピックにOGの吉田選手が出場予定です。

現在、盛工同窓会では、収入減や物価高騰に伴いこの度の会報デジタル化を始め、様々な改善・取組を始めさせていただきます。県下のセンタースクールである盛工をそして県内さらには国内・世界へと工業界をはじめ産業界全体を支える礎を、皆様のお力添えもいただきながら育て支援いただければ幸いです。

栄えある受章 おめでとうございます

【令和6年 秋の叙勲】

旭日双光章

社会福祉功労

(現二社) 岩手県手をつなぐ育成会会長

伊藤 昇氏 (機械S29年卒)

【令和6年

第43回危険業務従事者叙勲】

瑞宝双光章

消防功労

(元) 岩手県盛岡地区広域消防組合消防司令長

中村 久之氏 (電気S48年卒)

【令和6年 秋の褒章】

黄綬褒章

業務精励(時計組立調整工・卓越技能)

(現 盛岡セイコー(株)組立工房勤務) 伊藤 勉氏 (電気H3年卒)

次期総会のお知らせ

令和7年度 盛工同窓会・体育後援会総会

期 日: 令和8年7月4日(土) とき: 午後6時より
ところ: サンセール盛岡

是非ご参加下さい 毎年7月第一土曜日に開催

★同窓会費納入にご協力をお願いいたします★

同封の振込用紙にて納入して下さい。

年間費 — 3,000円 (体育後援会費含む)

令和7年度盛工同窓会事務局			
事務局長	角 清一	事務局長	石川 聖
体育後援会理事長	大坪 一司	事務局次長	澤瀨 修
事務局	太野 洋一	事務局	小原 義巧
	畠山 剛		小野寺 優介
	中嶋 将太		澤屋 敷 諒
	吉田 大地		田村 和夫
	中井 忠則		
	館澤 文枝		

最後になりますが、同窓生の皆様には日頃より同窓会活動に際しご理解ご協力を頂き、事務局一同、心から感謝申し上げますと共に、皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたしております。